

朝の連続テレビ小説

『おしん』上・下 橋田 壽賀子 Fハシ

山形の貧しい農家に生まれ、明治・大正・昭和の激動の時代を生き抜いたおしんの姿を描いています。わずか7歳で子守り奉行に出され、貧しさとの戦いだった幼少期。髪結いとしての下積み時代。佐賀の士族との結婚、姑との確執、商売の破たん、そして戦争。波乱万丈の人生をたくましく生きた姿が共感を呼び、世界中でヒットしたドラマです。朝の連ドラ史上最高視聴率の52.6%を記録しました。

『てるてる坊主の照子さん』上・中・下 なかにし 礼 Fカ

昭和30年代、大阪が舞台のある家族の物語です。パン工場を営む穏やかな父・春男と、喫茶店経営をするエネルギッシュな母・照子、そして四姉妹が繰り広げるホームコメディ。実は著者の奥さんの家族がモデルとなっています。長女・春子はフィギュアスケートで才能を発揮し、次女・夏子は芸能界で活躍する姿も描かれています。戦後復興期に豊かさを求め、夢を抱いて奮闘する個性的な登場人物たちが繰り広げる、朝の連ドラの原作らしい明るいストーリーです。

社会派ドラマ

『鉄の骨』池井戸 潤
F 竹

中堅ゼネコン一松組の現場社員、富島平太は、談合課と擲楯される業務課に異動することになり、談合の現実を目の当たりにすることになります。その頃、大型地下鉄工場の競争入札が行われることになり、一松組は脱談合を目指して技術力とコスト削減で公正入札を試みますが、他社の救済という名目で談合の壁が立ち上がり……。建設業界にとって談合は存続のための必要悪なのでしょうか。「半沢直樹シリーズ」や、『下町ロケット』で有名な著者の社会派小説で、読了後はスカッとした気持ちになれます。

学園ドラマ

『弱くても勝てます』高橋 秀実 783.7

全国屈指の進学校として知られる開成高等学校の硬式野球部の強さの秘訣について、監督や生徒への取材を元に記録したノンフィクションです。グラウンドを使えるのは週1回という厳しい状況のなかで、技術的な方法ではなく「勢いに任せて大量点を取り、ドサクサに紛れて勝つ」といった巧妙な心理作戦の結果、夏の甲子園大会の東関東予選でベスト16まで勝ち進みます。今までになかったユニークな戦略術で、野球に限らず他の分野でも「弱いなりの戦い方」について知ることができるかもしれません。

海外ドラマ

『情熱のシーラ』上・中・下 マリーア ドウエニャス Nドウ

1911年、スペインのマドリードに生まれ、貧しい母子家庭で育ったシーラは、13歳で母とともにお針子として働きます。誠実な男性イグナシオと婚約し、平凡だが堅実な将来を計画していたある日、情熱的で奔放な男性ラミーロと出会ったことで運命が大きく変わってしまいます。どん底にいたシーラは命がけの取引の末開いた店が成功し、その顧客との付き合いを通じて政治の世界へと参入し、祖国を守るためスパイとして活動することになるのですが……。スペイン内戦下の社会情勢に翻弄されながらも、したたかにたくましく生きるヒロインが描かれています。

ドラマ化された本たち

テレビドラマには原作があるものが多いです。原作を先に読んで想像を膨らませてから映像の世界を楽しむのもよし、ドラマを見てから改めて原作を読んでもみるのもまた違った発見があるかもしれません。

数ある原作本の中から、さまざまなジャンルのおすすめの本を紹介します。



ファンタジー

『精霊の守り人』上橋 菜穂子 Fウ

短槍の達人で女用心棒のバルサが、川に落ちて流された新ヨゴ皇国第二皇子のチャグムを助けることから物語は始まります。母親二ノ妃から「皇子の身には精霊の卵が宿っているため、命を狙われるようになった。」と聞き、チャグムを託されたバルサ。皇子を疎んじる父帝が差し向けた隠密たちや、異界の魔物から幼い皇子を守るため、命がけで戦い続けます。バルサはチャグムを無事守ることが出来るのでしょうか。

分かりやすい世界観で、ファンタジーが苦手という方でも楽しんでいただけたと思います。シリーズで続いているので、ぜひ併せてどうぞ。

時代劇

『銀二貫』
高田 郁
F 効

仇討で父を失った鶴之助は、大阪天満の商人の機転によって命を救われます。武士の子であった鶴之助は、名を松吉と改め、寒天問屋井川屋で丁稚として働くことになります。井川屋を中心としたなにわ商人の世界を舞台に、寒天作りや心に思う女性のために奔走する若者の物語で、銀二貫の使われ方にぐっとくるラストが待っています。大阪商人の言葉づかいと厚い人情、読んで損はない一冊です。